



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヤオコー
コード番号 8279 URL <http://www.yaoko-net.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川野 澄人

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理本部長 (氏名) 上池 昌伸

TEL 049-246-7000

四半期報告書提出予定日 平成27年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	79,430	—	4,229	—	4,140	—	2,745	—
27年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	70.71	—
27年3月期第1四半期	—	—

(注)1. 当社は、平成27年3月期第1四半期は連結業績を開示しておりましたが、当第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、平成27年3月期第1四半期の経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

なお、個別業績の前年同四半期との比較は、添付資料P.7「4. 補足情報」に記載しておりますので、ご参照ください。

2. 当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行なっております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
28年3月期第1四半期	129,686	—	62,497	—	48.2	1,609.60
27年3月期	129,501	—	60,694	—	46.9	1,563.13

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 62,497百万円 27年3月期 60,694百万円

(注)当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行なっております。前事業年度の期首に当該株式分割が行なわれたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	30.00	—	50.00	80.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行なっております。平成28年3月期(予想)における第2四半期末配当金及び期末配当金につきましては、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	157,100	9.5	7,300	2.3	7,100	△4.6	4,550	△5.8	117.18
通期	319,000	7.8	13,400	8.4	13,000	3.2	8,710	2.0	224.32

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行なっております。平成28年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	40,013,722 株	27年3月期	40,013,722 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期1Q	1,185,847 株	27年3月期	1,185,294 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	38,828,087 株	27年3月期1Q	38,828,834 株
----------	--------------	----------	--------------

(注) 当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行なわれたと仮定して、「(3)発行済株式数(普通株式)」を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、当社は、平成27年4月1日付で連結子会社でありました株式会社三味を吸収合併したことにより、連結子会社が存在しなくなったため、当事業年度(平成28年3月期)より連結財務諸表非作成会社となりました。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
4. 補足情報	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、平成27年4月1日付で、連結子会社でありました株式会社三味を吸収合併いたしました。

これにより、当社は、当事業年度（平成28年3月期）より、連結財務諸表非作成会社となったため、前年同四半期の損益数値及びこれに係る対前年同四半期増減率等の比較分析は行なっておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における経済環境は、景気が緩やかな回復基調で推移する一方で、消費税増税から1年が経過したものの、個人消費は依然として先行き不透明な状況が続いております。

また、景気回復に伴う雇用環境の変化により人材採用が困難な状況が続く一方、円安や原料高を背景とした食料品価格の上昇、建築・資材コストの増加、相次ぐ食品への異物混入事故による食品の安全・安心に対する懸念の増大など、食品小売業の経営を取り巻く環境は引き続き厳しい状況にあります。

このような環境下、当社におきましては、第8次中期経営計画の初年度として、「スーパーではなく『ヤオコー』と呼ばれる存在へ」をメインテーマに掲げ、「商品・販売戦略」、「運営戦略」、「育成戦略」、「出店・成長戦略」の4つの課題を柱に、生活者の「豊かで楽しい食生活」の実現に向け取組んでまいりました。

販売面につきましては、引き続き「ヤングファミリー層」（子育て世代）のお客さまからの支持拡大を図るべく、EDLP（常時低価格販売）政策の展開を拡大するとともに、ターゲットをより明確にした販促企画の充実など、FSP（フリークエント・ショッパーズ・プログラム）の活用をさらに深耕したマーケティング施策を展開いたしました。また、お客さま目線による従業員の接客意識の向上への取組みにも注力してまいりました。これらの施策の結果、既存店客数及び買上点数の増加につながり、既存店売上高が増加いたしました。なお、既存店売上高は26ヶ月連続で前年同月を上回っております。

商品面につきましては、生鮮部門及びデリカ部門の強化とともに、前期に稼働を開始したデリカ・生鮮センターの活用により、相互連携の強化を図ってまいりました。特に、生鮮部門については生産者の皆さまと共同で鮮度・品質向上に取り組む一方、デリカ部門については商品開発や改良を鋭意進め、お客さまの支持向上につながりました。また、引き続き「Yes! YAO KO」（当社独自のプライベートブランド）と「star select」（株式会社ライフコーポレーションとの共同開発プライベートブランド）の商品開発に注力いたしました。

店舗運営につきましては、作業工程の見直しやIT化・機器導入による業務効率化を推進するとともに、生産性向上についてモデル店舗での取組みの「横展開」を進めてまいりました。

店舗につきましては、4月に大型ショッピングセンター「ららぽーと富士見」内にららぽーと富士見店（埼玉県富士見市）の1店舗を開設いたしました（平成27年6月末現在143店舗）。また、既存店の活性化策として、6月に野田つつみ野店（千葉県野田市）と桐生相生店（群馬県桐生市）の2店舗について大型改装を実施いたしました。

上記の結果、当第1四半期累計期間における営業収益は79,430百万円、営業利益は4,229百万円、経常利益は4,140百万円、四半期純利益は2,745百万円となりました。

なお、当社は、スーパーマーケット事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

(注)「FSP（フリークエント・ショッパーズ・プログラム）」とは、ロイヤルカスタマーの維持拡大を図るための販売促進に関するマーケティング政策のことで、ポイントカード等でお客さまの購買データを分析して、個々のお客さまに最も適した商品・サービスを提供すること。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ184百万円増加し、129,686百万円となりました。これは主に、現金及び預金が減少したものの、連結子会社でありました株式会社三味を吸収合併したこと及び新規出店等に係る投資により有形固定資産が増加したためです。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ1,618百万円減少し、67,188百万円となりました。これは主に、未払法人税等が減少したためです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ1,803百万円増加し、62,497百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したためです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、当第1四半期累計期間における業績が概ね計画通りに推移していることから、平成27年5月11日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,638	4,639
売掛金	2,083	2,119
商品及び製品	5,465	5,514
原材料及び貯蔵品	31	250
繰延税金資産	1,225	756
その他	6,393	4,265
流動資産合計	21,837	17,546
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	37,471	39,127
土地	33,780	33,843
その他（純額）	14,641	17,760
有形固定資産合計	85,893	90,731
無形固定資産	3,109	3,160
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,573	1,689
差入保証金	13,067	12,947
その他	4,019	3,610
投資その他の資産合計	18,660	18,247
固定資産合計	107,663	112,139
資産合計	129,501	129,686

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	17,759	17,605
短期借入金	—	2,000
1年内返済予定の長期借入金	6,035	6,676
未払費用	6,045	5,958
未払法人税等	2,865	811
賞与引当金	1,665	1,144
商品券回収損引当金	30	31
ポイント引当金	833	519
その他	4,402	4,463
流動負債合計	39,637	39,209
固定負債		
長期借入金	14,303	12,442
再評価に係る繰延税金負債	40	40
退職給付引当金	1,941	2,230
役員退職慰労引当金	1,150	1,171
資産除去債務	2,727	2,737
預り保証金	5,340	5,251
その他	3,666	4,103
固定負債合計	29,170	27,978
負債合計	68,807	67,188
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,199	4,199
資本剰余金	3,606	3,606
利益剰余金	59,119	60,894
自己株式	△1,387	△1,390
株主資本合計	65,538	67,310
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	161	192
土地再評価差額金	△5,006	△5,006
評価・換算差額等合計	△4,844	△4,813
純資産合計	60,694	62,497
負債純資産合計	129,501	129,686

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	
売上高	75,766
売上原価	54,637
売上総利益	21,128
営業収入	3,664
営業総利益	24,793
販売費及び一般管理費	20,563
営業利益	4,229
営業外収益	
受取利息	25
受取配当金	3
その他	13
営業外収益合計	43
営業外費用	
支払利息	127
その他	4
営業外費用合計	132
経常利益	4,140
特別利益	
賃貸借契約違約金収入	0
抱合せ株式消滅差益	264
特別利益合計	265
特別損失	
固定資産除却損	230
減損損失	74
その他	8
特別損失合計	313
税引前四半期純利益	4,093
法人税、住民税及び事業税	722
法人税等調整額	624
法人税等合計	1,347
四半期純利益	2,745

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

個別業績

経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	79,430	14.7	4,229	33.6	4,140	17.9	2,745	16.5
27年3月期第1四半期	69,234	13.2	3,165	23.6	3,513	13.1	2,356	12.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	70.71	—
27年3月期第1四半期	60.68	—

(注) 当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行なっております。前事業年度の期首に当該株式分割が行なわれたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。